



人口 6,317人(−6)
 男 3,055人(−1)
 女 3,262人(−5)
 世帯数 1,763戸(−5)
 61年6月1日現在人口
 ()は対前月比



うまく 植えたかな

坪谷小学校では、近くの水田を借り、五年生全員で田植えをしました。

これは、理科の学習と勤労体験学習を目的としたもので、一列になりながらもち米の苗を植えました。

秋の収穫後にはもちつきをし、全校児童に配ることになっています。

61/7

第419号

衆議院議員総選挙

参議院議員通常選挙

投票日は7月6日

比例代表選出議員の選挙

(旧全国区)

第三十八回衆議院議員総選挙と第十四回参議院議員通常選挙が七月六日に執行されます。参議院議員通常選挙については、昭和五十八年の選挙から、参議院全国区制が改正され、比例代表選挙となりました。比例代表選挙は候補者個人ではなく政党に投票する選挙です。大切な一票を間違いないよう投票しましょう。

○比例代表選挙

(旧全国区)

政党に投票します。投票用紙には、政党の名称、または略称を記入してください。

○選挙区選挙

(旧地方区)

個人に投票します。投票用紙には、候補者個人名を記入してください。

● 候補者名簿に誰をどのような順位でのせるかは、各政党が決定しますが、その決定は適正に行うことが求められています。
● 有権者は候補者名簿や各政党の政策をよく見て選ぶ政党を決めます。

① 投票は政党名で。候補者名を書くと無効です。

● 投票用紙には政党の名称または略称を記入します。

● 候補者個人名を記入すると無効となります。

② 政党の選択は、候補者名簿や政策をよく見て。

● 立候補は政党(政治団体)が候補者名簿を提出して行います。個人による立候補は認められません。

● 候補者名簿に誰をどのような順位でのせるかは、各政党が決定しますが、その決定は適正に行うことが求められています。
● 有権者は候補者名簿や各政党の政策をよく見て選ぶ政党を決めます。

③ 選挙運動は政党が。候補者個人ではできません。

● 選挙運動や選挙期間中の政治活動は、すべて政党が行います。
● 候補者としての選挙運動はできません。

④ 当選者は、各政党の得票数に比例して決まります。

● 当選人数は、各政党の得票数に比例して配分されます。

● 当選人は、各政党の候補者名簿に記載された順位により、上から順に決まります。

選挙区選出議員の選挙

(旧地方区)

選挙区選挙は(都道府県を単位として)候補者個人に投票する選挙です。

投票日は

7月6日です

七月六日が衆議院議員総選挙と参議院議員通常選挙の投票日です。

わたしたちの生活は国の政治とかかわりなしにはあり得ません。わたしたちの一票が、日本の将来と、わたしたちの幸福に大きくひびく選挙です。あなたの一票が、明日の日本を築くのです。棄権することなく投票し、政治に参加しましょう。

不在者投票

投票日当日に「やむを得ない公私の用事」や「病氣、旅行、出産」等のため、どうしても不在になり投票所に行けない人のために、投票日の前に投票する

投票の順序

投票は、

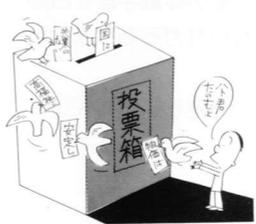
- ① 衆議院議員総選挙
- ② 最高裁判所裁判官国民審査
- ③ 参議院宮崎県選出議員選挙
- ④ 参議院比例代表選出議員選挙の順に投票します。

開票参観入席の入場方法

開票参観入席の入場については、七月七日開票日の七時三十分から役場玄関前で到着順に番号札を発行し、その番号順に八時から抽選を行い五十名の入場者を決定しますのでご注意ください。

〔問い合わせ〕

選挙に関する問い合わせは、町選挙管理委員会へ。



よろしく お願いします 東郷病院の 医師の異動

昭和五十九年六月一日から二年間内科医として勤務していただきました河野幹彦先生が、任期を終えて六月一日付で県立日南病院に転勤になりました。その後任に、同じ日南病院から山元香代子先生が赴任され六月二日から小児・内科の診療に当たっておられます。



山元香代子医師

山元先生は自治医科大学の三期生で昭和五十五年三月に卒業され、その後の経歴は次のとおりです。

- 一、昭和五十五年六月から五十六年五月まで県立宮崎病院勤務
- 一、昭和五十七年六月から五十九年五月まで椎葉病院勤務
- 一、昭和五十九年六月から六十年三月まで自治医科大学で研修

一、昭和六十年六月から今年五月まで県立日南病院勤務
先生は、大変診療熱心な方だとの評判で今後の活躍が大いに期待されます。

〔着任のごあいさつ〕

六月一日付で、河野先生の後任として参りました山元香代子です。

内科・小児科担当です。出身は都城です。昭和五十五年自治医科大学を卒業し、県立宮崎病院で二年間の研修をうけ、椎葉村立病院に二年間勤務しました。

その後、大学の小児科の教室でしばらく勉強した後、県立日南病院に約一年間勤務し、東郷町立病院へ参りました。

山や緑がきれいで、空気がおいしく、とてもいい所だとうれしく思いました。外来、病棟、往診と忙しく、まだなかなかこちらの仕事に慣れませんが、じっくり腰をすえて、一生懸命仕事をしたいと考えています。よろしくお願ひします。

高温多湿は 細菌が増える 最適環境

日本の夏は高温多湿。人間にとっては過ごしにくい気象条件でも、微生物や細菌が増えるには最高の条件なのです。なかでも食中毒を引き起こす細菌は、七、八、九月に猛威をふるい、一年間に発生する食中毒の六、七割がこの時期に集中しています。

夏の食中毒にご用心!!

食中毒防止の三原則は①清潔 ②じん速③加熱と冷却——毎日の食卓を守るためにも、家庭でできるチェック・ポイントをみてみましょう。

- 清潔 ■■■■■■
- 細菌をつけない

食中毒にならないためには、まず細菌をつけないことです。調理をする前には必ず手を洗ひしましょう。見た目はきれいかもしれませんが、細菌のすみか。なので、

また化膿した傷口やおできのなかには、食中毒の原因となる細菌がいます。指に切り傷やおできがあるときは、指サックなどで傷口をふさぐようにしましょう。

また食器、まな板、ふきんなどの調理器具は、次に使うときのために熱湯消毒や天日乾燥をして、清潔にしておきましょう。

じん速 ■■■■■■ 調理したらすぐ 食べる

夏は暑さで食品が腐りやすくなります。調理の仕方にも、工夫がいる季節です。

食品を買ってきたら、常温に長く置かず、手ざわよく調理しましょう。とくに魚などの生の食品は、できるだけ早く調理することが大切です。

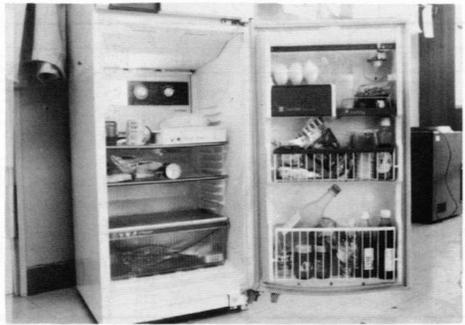
また食中毒を引き起こす細菌が増えるには、ある程度の時間がいられます。調理したものは早く食べましょう。食べ残して時間のたったものは、なるべく捨てるようにしてください。このことが食中毒を予防します。

冷やして増やして 熱して殺す

細菌は熱に弱いものです。六五度以上で加熱すると、たいいていの細菌は死んでしまいます。

また冷却は細菌を増やしにくくする効果があります。グンと冷凍すれば、細菌はまったく増えません。

加熱と冷却をうまく使って、細菌をよせつけないようにしましょう。



冷蔵庫の過信はいけません

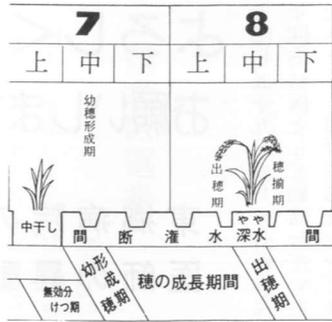
農作業のポイント

病害虫駆除は早目に

早期水稲

早期水稲は、七月初旬は穂ばらみ期で、七月五〜八日頃には出穂が始まります。早期水稲の出穂期は、病害虫防除の重要な時期で、仕上げ防除の時期とも言っています。

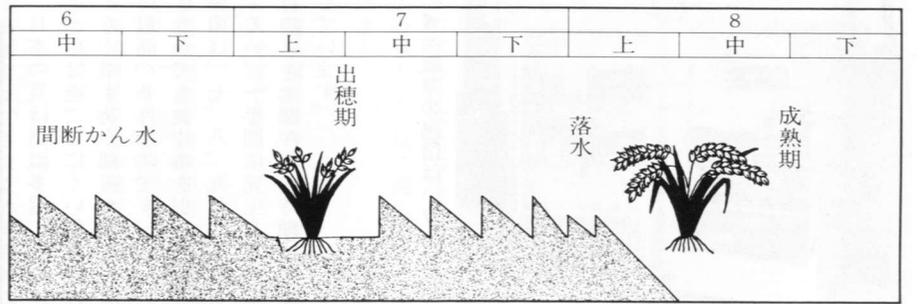
一、穂首いもち病、もんがれ病
穂首いもち病の防除は、穂ばらみ期（出穂三〜五日前）に下



葉のいもち病から夜間にいもち病の胞子が飛散して、出穂間もない稲穂をおかします。下葉に十分薬がかかるよう散布することが大切です。
又、胞子は広範囲に飛散しますので、集落ぐるみの一斉防除共同防除が大切です。
もんがれ病は、高温多湿の条件下で病菌が活性化します。この時期に予防と治療を兼ねた防除が必要です。もんがれ病が発生しますと倒伏の原因になります。又、下葉の枯上りで登熟不良となりますので、もんがれ病の出ている株元に薬が十分かかるようにしてください。
薬剤はヒノバリダシン粉剤か、バリダシン液剤六〇〇倍と、ヒノザン乳剤一、〇〇〇倍液を混合して十アルル当り二〇〇と散布してください。なおこの時期は雨が多いので雨間を見て防除をしてください。

二、枝梗いもち病、カメムシ

枝梗いもち病の防除は、穂揃期に飛散してくるいもち病の胞子から守るために防除します。ので、薬剤が穂の枝梗に十分かかるように心がけてください。
又、散布時間は、水稲の開花が終る午前十一時頃より夕方にかけて行いますが、カメムシと



の同時防除となります。カメムシは昼間の暑い時間帯には稲の下の方において、夕方涼しくなると穂に上ってきて加害しますので、夕方の防除が有効です。カメムシの防除にあたってはカメムシは臭いに敏感ですぐに逃散しますので、風下より直接カメムシにかけられないと効果がありませんので注意してください。薬剤はヒノバリダシン粉剤十アルル当り四kg、又はヒノバリダシン液剤の六〇〇倍液を十アルル当り二〇〇と散布してください。
カメムシの防除は穂揃期とカメムシの一番多くなる乳熟期の二回の防除が必要です。乳熟期の乳剤による防除は、農業安全使用基準によるとパイジット・スミチオン剤は収穫二十五日前までとなっていますので、粉剤での防除となります。

三、水管理

パイジットやコンバインの導入で、早期水稲の落水は穂が出て十日もすると水を落とす人が多くなっています。落水が早いと品質が悪くなり、又、収量も低くなります。湿地以外では、収穫一週間前までは間断かん水か、通し水程度に保ち、絶対に地面が白く乾かないように注意してください。

普通期水稲

五月下旬〜六月上旬に田植された普通期水稲は、六月下旬で有効分けつ終止期となり、以降に発生する分けつは無効分けつとなります。七月上旬から中旬にかけては中干しの時期でもあり、最終の除草期ともなります。中干しについては六月号の早期水稲で書いていますので参考にしてください。

24-Dの散布、時期、方法は分けつの確保（分けつが三十本程度）ができたら分けつ止めと、除草を兼ねた24-Dの散布時期です。水中24-D粒剤の散布は、深水にして、雑草がかくられる程度とし、散布後は三〜四日間はそのまましておくことが大切です。掛流しや水を落とすと効果がなくなります。
又、24-Dはホルモン剤ですので、早過ぎると葉がロール状になったり、又、おそ過ぎて減数分裂期まで薬効が残ると、穂が飛んだり、花粉ができず不稔をおこすことがありますので、適期に散布することが大切です。出穂三十日前頃までには散布を終るようにしてください。

七月の病害虫防除

(1) もんがれ病

もんがれ病は、高温多湿の条件下で発生します。特に畦畔雑草の繁茂等で畦畔の風通しが悪くなったり、つけ苗を何時までもそのままにしていると、そこからもんがれ病が発生し、七月上旬頃から水面で横に広がり、七月下旬より稲が伸長し始めると、下位葉鞘より上位葉鞘に移動しますので、七月上旬のもんがれ初発時にアソバツサ粉剤かネオアソジン液剤一、五〇〇倍とバツサ乳剤一、〇〇〇倍の混

合剤を十アルル当り一五〇と散布してください。
なお、ネオアソジン剤は、ひそ剤ですので、花粉をつくる七月下旬以降に散布すると花粉ができず不稔となりますので、散布時期をよく守ってください。

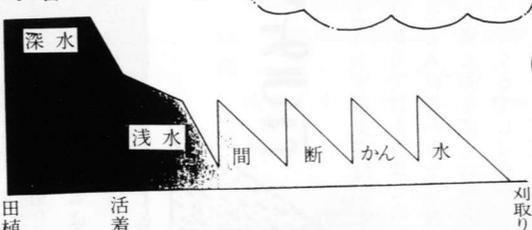
(2) 葉いもち病

毎年梅雨の時期に葉いもち病の発生があり、ひどい所ではズリ込みいもち病となり防除が大変ですが、前月号に書いたようにいもち病は予防が大切です。もし、いもち病が出ていても普通の年では、梅雨明け後の好天と、温度上昇（いもち病は30℃以上になると菌が停滞して休眠状態となる）で回復しますので、七月中、下旬では葉いもち病は問題となりません。しかし、年によっては低温で雨が多いこともありますので注意が必要です。



落水が早すぎると、登熟が妨げられ、腹白、青未熟、胴割米が多くなるんだぞ！

水管理の一例



薬剤は、ビーム水和剤か粉剤又は、予防と治療効果のあるカスラサイド剤で防除してください。

(3) 夏ウヅカ、秋ウヅカ

夏ウヅカ（セジロウヅカ）と秋ウヅカ（トビイロウヅカ）は六月中旬頃より梅雨明けにかけて、中国大陸や南方より梅雨前線に乗って飛来して北上します。七月上旬の梅雨前線が北上する頃が一番飛来が多く、又、飛来量は年によって違います。昨年

のように飛来量は少くても、八月に雨が多いと防除ができず、九月になって坪がれを出すこともありますので、注意が必要です。

夏・秋ウヅカの防除のポイント
トは、飛来してきたウヅカを殺すことが大切ですが、飛来が六月中旬〜七月上旬と長期間にダラダラと続くので、防除の適期をつかむのが大変です。
一応のメドとしては梅雨前線が北上する七月上旬に大量に飛来することが多いので、飛来して二〜三日は体力をつくるために、稲の栄養分を吸収して、体力をつくってから産卵に移ります。この産卵をする前に防除することが防除のポイントになります。テレビ、ラジオや役場、農協の情報に従いすみやかに防除してください。

なお、ウヅカは、この時期に稲のやわらかくて色の濃い水田に多く飛来します。
中干し等で稲の葉色を落し、稲を固くすることも耕種的防除につながります。

薬剤は、もんがれ病との同時防除剤としてアソバツサ粉剤、又は、ネオアソジンとバツサ乳剤の混合剤で株元に十分かかるようにして散布してください。
(4) コブノメイガ(葉巻虫)

夏・秋ウヅカと同様に、日本では越冬しませんが、ウヅカと同時に梅雨前線に乗って北上してきますが、その量は年により差が大きいので注意してください。
防除については次号で書きます。

大豆・そばを 作りましょう

秋大豆の播種の適期は七月十五日から二十五日です。品種は大粒で多収良質のフクユタカを推めています。共同利用機械として播種機、脱粒機、選粒機を用意しています。

そばは、転作作物及び未利用畑の作物としてミヤギオオツブの作付を推めています。

昨年度のそば粉は、宮崎市で開かれた味のカーニバルと牧水庵で展示即売をいたしました。好評の売れ行きで、現在は品不足の状況です。そばは短期間で労力も余り必要とせず、山間追田の休耕田等に作付けて、町の特産品として育てましょう。
尚、そば粉を保有している方は農林課までご連絡ください。牧水庵で五〇〇〜四百円で販売いたします。



○穂首いもち病は下葉のいもち病を抑えることだ！
○枝梗いもち病は穂揃期の防除が大切だ。

カメムシの防除を2回したから今年は安心だ



まわりが桑園だからうちは乳剤や粒剤でワヅカの防除をするんだ

点描 (57)

牧水庵と 青空市場

牧水生家と記念館を見て牧水橋を渡ると、珍しい形をした木造りの家があります。これが牧水庵です。この牧水庵は記念館を訪れた観光客のための休憩所です。庵の中に見えた方にお茶のサービスをいたします。庵の中には地場産品の牧水漬、そば粉、醤油の実、牧水センペイ等売って町外からのお客さんに喜ばれています。



仲深区の婦人会が行った農産品の青空市場(五月三日)

曜日には百五十余人の観光客があり売店の品物が空っぽになる程の盛況でありました。この観光客に目をつけたのが仲深公民館長と婦人会長であります。牧水庵の前庭を使わして貰って、青空市場を開くことを協議し、早速五月三、四、五日の連休目標に具体的計画立案、仲深公民館で公民館長、婦協長中心に役員が二日間も打合せをしたのです。市場に出す品物の選定、値段の決定、品物持込みの方法、当日の係人数の割当等皆さん真剣そのものであります。

愈々五月三日を迎えたのです。どんよりとした空模様、皆張り切って品物を持ち込む。野菜では大根、フキ、グリーンピース、クサギナ等、竹の子、小豆、そば粉、ラッキョウ、醤油の実、牧水漬(朝鮮漬)ダンゴ、ワラビの干したもの、チマキその他二張りのテント一杯に並べられた。十時過ぎには既にお客が見えた。牧水庵に入ってお茶を飲む人、市場に立ち寄る人、正午すぎには相当多くの来客で、品物は面白く売れたのです。中には品物が売り切れて家にとつてかえす役員さんもいた。つり銭が無くなったと言って公民館長さんはどこかへ車で出かけた。

母の事 (その二)

塩月儀市

チマキはまたたく間に売り切れた。醤油の実も分らないお客さんもある。食べ方を教えて売っている。ワラビの干したものをそば粉等町外の人には珍らしいでしょう。かくして第一日は大成功、第二日の五月四日、相変らずの曇り空、客足がにぶいのではないかと心配したが、相当あった。私も十時頃に気になって行ってみたが、お客は多かった。木村助役さんも気になってお見えでした。第三日は雨で客足は悪

かった。三日間に訪れた客は約九百人。醤油の実も分らないお客さんもある。食べ方を教えて売っている。ワラビの干したものをそば粉等町外の人には珍らしいでしょう。かくして第一日は大成功、第二日の五月四日、相変らずの曇り空、客足がにぶいのではないかと心配したが、相当あった。私も十時頃に気になって行ってみたが、お客は多かった。木村助役さんも気になってお見えでした。第三日は雨で客足は悪

或時はまた声も枯れ果て、たゞしくと頬を抑へて泣いていると、母は為かけた仕事を捨てておいて私を背に負いながら釣竿を提げて溪へ降りて行った。そうして何か彼か断えず私に話しかけながら岩から岩を伝って小さな魚を釣って呉れた。いま思へばその頃の母は四十前後であつたろうが、どうしたものか私には二十歳前後の人と想像せ

海

私の村から海岸に出るには近ところでは僅か五里しかないのであるが、四辺を包む山嶽の形から宛然二十里も四十里も離れた、山深い所に思われてならなかった。で、母に連れられてなど、附近でもや、高い山の頂上へ行って、あれが海だ、と指さされると、実に異常のものをみる様に、胸がときめいた。僅かに白く煙つたり光つたりして見えるだけで、海というものが果してどんなものであるか殆んど想像することも出来なかつた。兎に角、この方角に海がある、という事を知り得るだけで、非常な満足であつた。そして、それを種に種々雑多な空想を描いたものである。(つづく)

健康余話

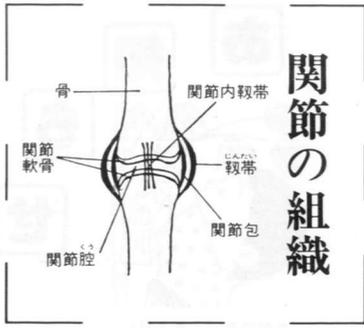
⑥ 変形性 膝関節症

東郷病院長
山本 宏

先日、県立日南病院へ転任された河野先生に引き続き、今月から本稿を担当することにいたしました。

今度、河野先生の後任に赴任されました山元香代子先生は、小児科が本来の専門なのですが、当院では小児科と内科の両科を担当していただくことになりました。これから毎月、二人で交代して本稿を書いていきたいと思っております。

まず今回は、農山村に比較的



関節の組織

多くみられる「変形性膝関節症」について触れてみたいと思えます。

この病気は、頻度的には多い疾患であるにもかかわらず、これといった有効な治療法が無いのが現状です。働きの者のお年寄りなどが、膝が痛いとか、膝が腫れるとか、歩くのが辛いなどといった訴えて病院に連れられます。膝にかかる負荷とそれによっておこる軟骨の破壊が、この病気の本態で、重い物などを持つて山道を降りたりすることなどで膝関節に負担がかかることで痛みを感じ、その状態が進むと変形が生じて来ます。

以前は治療としてよく膝関節内へのステロイド注射がよく行われていました。この方法は、一時的に疼痛の緩和は認められても繰り返すことで骨を徐々に破壊し、ステロイド関節症といつた実にやっかいな副作用を起こして来ます。現在では、殆ど行われなくなった治療です。

では、注射以外で、どのような治療法があるのかというと、先づ(一)症状の強いときは安静が第一です。特に、夜間の安静を保つことが大切です。(二)次に、理学療法(温熱療法や低周波療法など)が行われて

派出所だより

少年の非行を 防止しよう

少年の非行は、全国的には、減少傾向を示していると言われているようですが、本県の場合は、昭和五十五年以降連続して増加傾向を示しています。質的にも悪質、凶悪化の傾向がみられます。最近の非行をみますと、少年自身が目撃や感情を抑えることができず衝動的に非行に走るといふ共通点がみられることから、青少年による柔、剣道等のスポ

前記の治療に頼る他はありません。低周波治療で、膝が軽くなつたとか、曲がっていた膝が伸びるようになったなどの声を聞くこともよくあります。薬を飲むようになって痛みが軽くなつたという人も多くいます。生命に異常がないにもかかわらず、このような病気は本当にやっかいなものです。根気よく対症療法を続けることが大切だと思います。

このため、宮崎県交通安全対策推進本部にあつては、七月を「暴走族追放運動月間」に指定して、県下一斉に「暴走をしない。させない。ゆるさない。」の三不運動を展開することにしておりますので、小さな事でもお近くの派出所等へご一報をお願い致します。

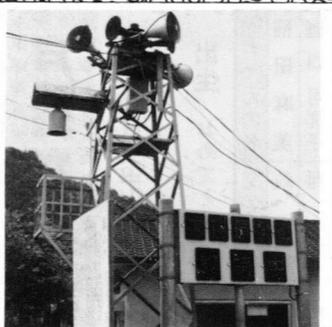
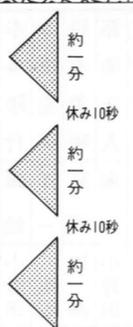
暴走族を 追放しよう

例年、夏はドライバーや沿道住民に危険や迷惑を及ぼしている暴走族(行為者)が、最も多く出没する季節です。

サイレンに注意

ダム放水

九州電力の水力発電所では、雨の降る量によりダムから放流するため、川の水が急に増えることがあります。放流の前には、次のようにサイレンを鳴らしますのでご注意ください。





たなばた(7月7日)

保母資格試験 準備講習会

一、受付期間

昭和61年6月6日から
昭和61年7月12日まで

二、講習期間

昭和61年7月20日から
昭和61年7月26日まで

※受講者の範囲などくわしいことは住民課福祉係へ

宮崎県保母試験

一、受付期間

昭和61年7月1日から
昭和61年7月15日まで

二、試験日

昭和61年8月19日から
昭和61年8月22日まで

※受験資格などくわしいことは、住民課福祉係へ

一一九番の スピード化

六月一日から、日向市消防庁舎が日向市日知屋に移転いたしました。この移転に伴い火災救急等の通報(一一九番)の取扱いがわかりました。

従来までの一一九番通報は、役場で受けて日向市消防署に連絡していましたが、六月一日からは直接日向市消防署が応対することになり、一一九番の通報処理が大幅にスピード化されました。

今後とも一一九番通報につきましては、次のことをはっきり通報されるようご協力をお願いします。

- ▽火災通報の場合
 - 火災発生の場所
 - 状況
 - 通報者の氏名
- ▽救急依頼の場合
 - 患者の所在
 - 状況
 - 通報者の氏名

行政相談

国の仕事をはじめ、県や町の仕事に対する苦情や要望など相談に応じています。当日以外は自宅で受付けています。どんなことでもお気軽にご相談ください。なお、当日は宮崎行政監察事

務所より担当係官が来町し相談に応じます。

▽日時 7月15日 9時～15時

▽場所 老人福祉館

行政相談委員

東郷町仲深 山口俊一

心配ごと相談

心配ごと・悩みごとなど、どんなことでもお気軽にご相談ください。

なお、各地区の相談委員(民生委員)による地区相談も、毎週火曜日にそれぞれの相談員宅で開設していますので併せてご利用ください。

▽日時 7月15日 9時～15時

▽場所 老人福祉館

結核検診

結核検診が7月28日から8月2日までの6日間の日程で実施されますので、もれなく受検し病気の早期発見に努めましょう。なお、検診場所・時間等については別途連絡します。

消費生活相談

消費生活に関する買物相談(表示の見方等)、苦情相談(商品やサービスの安全性、品質、

取引方法、契約を解除したいというような相談等)などについてくらしのアドバイザーが相談に応じています。お気軽にご相談ください。

なお、当日以外はそれぞれの自宅で受付けています。

▽日時 7月15日 9時～15時

▽場所 老人福祉館

今月の納税等

固定資産税二期 水稻共済掛金二期



忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

◎羽坂の橋口勝美さんから(勝一さん・85歳ご死去)

◎小野田の福良信一さんから(學さん・77歳ご死去)

◎高鍋町の戸高明さんから(助右衛門さん・76歳ご死去)

◎寺迫の黒木国寛さんから(弥市さん・75歳ご死去)

◎西米良村の川口毅さんから(名吉さん・75歳ご死去)

戸籍だより

(五月届出分)

出生 おめでと

赤ちゃんの名	父の名	住所
稲田麻美	政志	坪谷
樋口可那子	雅一	寺迫
本多隆行	講始	小野田
寺原宏美	洋一	八重原
鈴木美咲	夏美	福瀬
那須洋人	末吉	小野田
直野明華	雄二	福瀬

結婚 お幸せに

氏名	住所
(火宮文徳)	京都府
(那須祥子)	小野田
(新名昭仁)	寺迫
(日高由美子)	川南町
(川崎隆志)	日向市
(楠麗加)	越表
(橋本正志)	日向市
(畝原まり子)	小野田

死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
橋口勝一	85歳	羽坂
寺原クマ	91歳	羽坂
小川富士子	54歳	田野
岩原トク	84歳	小野田
福良學	77歳	小野田
飯干勝美	58歳	小野田
戸高助右衛門	76歳	小野田
池内繁雄	68歳	小野田
海野春子	56歳	坪谷